

# みなぽーと新潟

創刊号

2006 秋

<爽快・ロマンチック・にぎわい!>

● 港でのんびり、展望スポットめぐり

<新潟港がこんなになればいいなー>

● みなと夢スケッチ

<世界の港と結ばれているよ>

● みなと物知り博士

<江戸時代から栄えた港>

● コラム みなと今昔

<皆で楽しい港にしましょう>

● みなぽーと広場



<表紙イラスト> カップルに人気の都会的な港で、シンボルマークの大観覧車 / 谷川 郁

「朱鷺メッセの近くにショッピング・エリアが欲しいな」と思ったので、朱鷺メッセ周辺を都会的な街並みへと変身させてみました。若いカップルが散策を楽しめる、明るい港です。港のシンボルマークは、もちろん大観覧車。観覧車に乗って、ショップやレストランが入っているビルへ移動が出来るシステムです。港にはいつも帆船が浮かび、中はレストランとして賑わい、夕日も楽しめます。夜になればライトアップされた帆船が、新潟の港のムードを盛り上げます。(関連記事P3・4)



# 港でのんびり、 展望スポットめぐり

日本海と信濃川の出会いの場所・新潟港は、江戸時代安政5年(1858年)より開港5港のひとつとして賑わい栄えてきた所です。そして海や川、夕日といった自然との触れ合いもあり、心を和ませる場所としても人々に愛されてきました。みなさんも港の展望スポットを巡ってみませんか？



## ■ 港ってどこなの？

新潟の港は、新潟西港と新潟東港から成り立っています。新潟西港は萬代橋から下流の区域。人流や物流が盛んな、佐渡観光の起点ともなっています。新潟東港は工業、物流中心の日本海側を代表する貿易拠点です。また国内外の人々の空の玄関となっている新潟空港も新潟の空の港です。



みなとびあ屋外芝生広場(2006年8月イベント風景)



## A みなとびあ

新潟西港 新潟市柳島町2-10  
新潟市歴史博物館 TEL025-225-6111  
開/4~9月9:30~18:00、10~3月9:30~17:00

### 港町新潟の歴史をたどり、港の活気を望む

みなとびあには、新潟市歴史博物館のほか、今はレストランとして活用されている旧第四銀行住吉町支店、旧新潟税関庁舎、石庫、堀や柳、木の橋といった昔の建物が点在。これらの歴史ある建造物に囲まれながら、朱鷺メッセや佐渡汽船フェリーターミナルを間近に眺められるスポットです。大きなフェリーが出航するときに信濃川で方向転換する迫力ある動きを追うことができます。

「港町新潟の今と昔の様子を一度に体感できる、贅沢なスポット。大人から子供まで楽しめます。」

## B 佐渡汽船ターミナル・スカイレストラン

新潟西港 新潟市万代島9-1佐渡汽船ターミナル8F  
TEL025-245-0211 営/11:30~19:30(L.O.19:10)

### 万代島エリアの先端でランチ&カフェを楽しむ

万代島の先端、佐渡汽船ターミナルのレストランは、行き交う船はもちろんのこと、日本海や佐渡ヶ島の絶景スポット。ここでは、新潟と佐渡の新鮮な食材、米、酒、魚にこだわった洋食&喫茶。スペシャルランチや週替わりランチ、「日本海に沈む夕日をイメージした」オムハヤシライスなどをいただきながら、港と日本海の景色を楽しんで。



佐渡汽船ターミナル・スカイレストラン

「ランチを食べながら行き交う大きな船を眺められて大満足!!とくに港に面したカウンターテーブルは絶景!」





「窓一面に広がる景色は感動もの!! 悠々と流れる信濃川が日本海へとつながっていて、雄大な自然によって形づくられた新潟を感じられます。」



朱鷺メッセ 展望室

### ◎ 朱鷺メッセ 展望室

新潟西港 新潟市万代島5-1朱鷺メッセ31F  
TEL025-240-1511(9:00~18:00)  
開/通常8:00~22:00(最終入場21:30)、水曜8:00~17:00(最終入場16:30) ※都合により休館日あり

**人気ナンバーワン、高さナンバーワンの港眺望スポット**  
地上125mから望むのは、新潟の大パノラマ。新潟島を地図のように一望できるほか、新潟西港の全体がよくわかり、新潟が港町であることを実感できます。夕日の時間帯は、感動的なパノラマに出会えます。展望室中央に自由にくつろげるテーブルがあるほか、レストラウンジもあり、のんびりできるスペースです。

### ◎ 新潟みなとトンネル

#### 山の下みなとタワー・入船みなとタワー

新潟西港 開/4・5・9月9:00~19:00、6・7・8月~19:30、10~3月~17:30

#### トンネルの換気塔に造られた、2つの展望タワー

信濃川の河口部を結ぶ新潟みなとトンネルは、海底部850mのトンネル。両方の入り口に設けられているモダンな建物が、「みなとタワー」です。●**山の下みなとタワー**／信濃川の右岸に位置しています。6階の展望室の大きなガラス窓に広がるのは信濃川河口、その向こうに日本海。同じフロアに港町・新潟の歴史を展示しているので、景色に憩うだけでなく、昔の港についても学べて一石二鳥です。●**入船みなとタワー**／信濃川左岸、新潟島の端に位置し、7階が展望室です。こちらは日本海に面しているため、窓一面に信濃川と続く日本海の大海原が広がっています。みなとトンネルは、近郊の人たちのウォーキングやジョギングのコースにもなっています。

#### <入船みなとタワー>

「新潟西海岸の東端に建っているから、日没時は最高のロケーション!! 海に真っ赤な夕日が映えてとてもきれい。」



入船みなとタワー

#### <山の下みなとタワー>

「ここから眺める夕日や月の美しさは評判。対岸の街並みがシルエットになって、まるで絵画のように見えます。」



山の下  
みなとタワー



## まだまだある、 みなとのスポット

### ◎ 新潟空港 送迎デッキ

新潟市松浜町3710 TEL025-275-2638  
開/8:00~20:00(季節によって変更あり)  
料/大人100円、小人50円

**エアポート独特の活気を感じて、気分をリフレッシュ**  
現在、新潟空港は、国際線7路線、国内線7路線定期便が就航。チャーター便も大型機の就航が可能になり、アジア、オセアニア、ヨーロッパ、アメリカなど世界各国と新潟が結ばれています。送迎デッキ(有料)は広々としていて息抜きや気分転換に立ち寄るには最高の場所です。空港内の雰囲気も、国内外の人たちで賑わいを見せます。

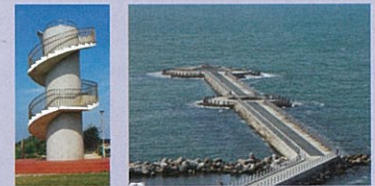


### ◎ 日和山展望台

新潟西港 新潟市西船見町

#### 新潟の海が、美しい海岸へと蘇える風景

新潟西海岸では、1987年から美しい海岸を蘇らせるため突堤と潜堤を造り、景観を損なわず波による海岸侵食を防いでいます。現在、砂浜が徐々に蘇り、新潟西海岸はかつての賑わいが戻ってきました。突堤は釣り場としても人気です。日和山展望台に上ると、新潟西海岸の砂浜の変化がよくわかり、日本海の夕日スポットとしてもおすすめです。



### ◎ にいがたポートセンター

新潟東港 北蒲原郡聖籠町東港4-790-2  
TEL025-256-4188  
開/9:00~17:00(年末年始を除く)

#### 新潟東港の物流・貿易の勢いを目の当たりにする

10万トン級のタンカーが入港するエネルギー供給地であり、国際コンテナターミナルが整備され、世界60カ国と結ばれている新潟東港。その東港の地域の活性化を目指して建てられたセンターです。屋上からコンテナターミナル地区や税関、海外の船舶の動きなどを垣間見ることがができます。休憩は1階のラウンジで。





# みなと夢スケッチ

新潟港がこんなになればいいなー

デザインを学ぶ学生に港周辺を散策していただき、  
自由な発想で“新潟の港”を描いてもらいました。  
その力作をご紹介します。

みなさんはどんな港がお気に入り？

プロフィール

- ①血液型 ②星座 ③趣味 ④好きなアーティスト  
⑤子どもの頃の夢 ⑥将来つきたい職業 ⑦港で一番気に入った場所



夕日スポットの新潟西海岸で港のイメージを膨らませました

表紙イラスト カップルに人気の都会的な港で、シンボルマークの大観覧車

■谷川 郁

## Kaoru Tanikawa

- ①O型 ②ふたご座 ③おでかけ、読書 ④紀里谷和明(写真家) ⑤イラストレーター、マンガ家 ⑥グラフィックデザイナー ⑦日和浜の釣り場になっている突堤。朱鷺メッセの展望室。



### 水の都ベニスのような異国情緒漂う、憩いのロマンティック・ポート

イタリアの街並みが好きなので、「水の都ベニス」の雰囲気を取り入れた“新潟で感じられる異国情緒”をテーマとし、ロマンチックな港を描きました。手前には波をイメージした柵を描き、そこから港に船が行き来している風景が眺められます。色は水彩色鉛筆でシックなトーンにまとめながら、海に沈む夕日のきれいな雰囲気を出し、建物にあたる夕日の色も表現しました。

古い建物って雰囲気があってステキですよ。その周辺にレジャー・スポットがあってジェットコースターとかを楽しめて、ショッピングもできて、カフェでお茶したり、夕日を見たり…。新潟の港がそんな風に時間を忘れさせてくれる場所であれば、若い人たちもきっと「行きたい」と思ってくれるはずですよ。

■市川 有夏

## Yuka Ichikawa

- ①A型 ②しし座 ③映画鑑賞、ナマラ鑑賞 ④Tommy(川瀬智子) ⑤犬屋さん ⑥自由気ままな生活 ⑦朱鷺メッセ周辺の川に停泊しているヨットがステキだった。





## 夕日とジャズに酔いしれる、港町の粋な絶景ゾーン

「港でジャズが聴けたら楽しいし、人が集まるだろう」と考えたんです。新潟はジャズが盛ん。長岡の繁華街でジャズを演奏している人たちを見かけたのが、発想のヒントに。また新潟の港からの夕日が美しいので、ジャズをバックに夕日を眺められるゾーンをイメージしました。

フロアは船のデッキのようにして、手前でジャズマンがプレイしていたり、奥にはジャズのCDが買えるショップやカフェなどがあつたりと、歩くのが楽しくなるような場所を遠近法で描きました。新潟は冬が長いので悪天候のときのことも考えて、可動式の透明ドームが欲しいですね。夕日に染まった色彩や、デッキの色合いは、水彩色鉛筆ならではの微妙なニュアンスが出たと思います。



# ■ 笹原 雄太 Yuta Sasahara

①O型 ②うお座 ③サイクリング、絵を描くこと。 ④B'z ⑤パン屋。鳥人間コンテストに出ること。 ⑥イラストレーターとDTP、web制作等、何でもできるマルチデザイナーになり、世界に通用するデザイナーになること。両親に一軒家を買ってあげること。 ⑦朱鷺メッセ展望室で見た景色。みなとびあの信濃川の雄大な景色。夕日。

## 四季を通じて海の幸を味わう屋形船を、港のお楽しみ処に

やはり新潟のシンボルは信濃川にかかる萬代橋。そこまでが港と知り、「昔ながらの屋形船を年中もっと活用してみてもは?!」と思いました。365日乗船できて、新鮮な日本海の幸を味わえる“船上レストラン”があれば、幅広い年齢層の人たちが訪れるようになります。県外からの観光客に新潟の川と海の幸を満喫してもらい、“新潟のおもてなしスポット”としてもおすすめです。

そこで中央にいろいろな人が楽しそうに海の幸を味わっている様子をクローズアップして、バックに夜ライトアップされて輝く萬代橋と、信濃川に浮かぶ屋形船を描きました。最初、水彩絵の具で描き、上からパステルで色を強調した作品です。活気ある夜景を美しく表現するため、光の着色の加減に気を配りました。



# ■ 小林 小百合 Sayuri Kobayashi

①O型 ②おうし座 ③田舎を散歩すること。部屋のインテリアを考えること。 ④一青窈 ⑤マンガ家 ⑥自分のデザインした広告物を、より多くの人に見てもらえるようなグラフィックデザイナー ⑦入船みなとタワー近くの海岸。夕日がとてもキレイ。座れる階段もあって、お気に入りになりました。





# 全国でトップテンにランクイン!!! 新潟港取扱の外貿コンテナ貨物!!!

新潟港は世界の物流拠点として賑わっています。

大きな船に山積みで運ばれてくる荷物、

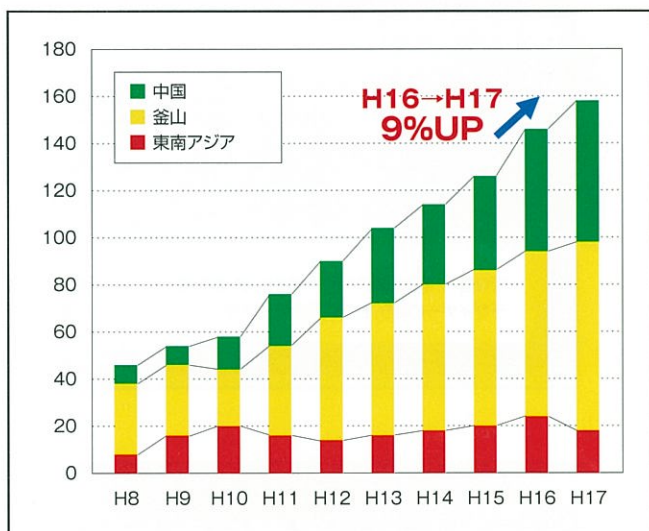
今回は新潟港の取扱量と四角い箱の『コンテナ』に注目しました。

## ■全国各港の外貿コンテナ取扱量(単位:千TEU)

順位	平成16年		平成17年速報値	
1	東京	3,358	東京	3,594
2	横浜	2,607	横浜	2,727
3	名古屋	2,155	名古屋	2,307
4	神戸	1,851	神戸	1,885
5	大阪	1,726	大阪	1,802
6	博多	571	博多	621
7	清水	406	清水	411
8	北九州	400	北九州	408
9	苫小牧	180	苫小牧	171
10	広島	166	<b>新潟</b>	<b>157</b>
11	<b>新潟</b>	<b>144</b>	広島	149
12	四日市	139	四日市	145
13	水島	108	仙台塩釜	99

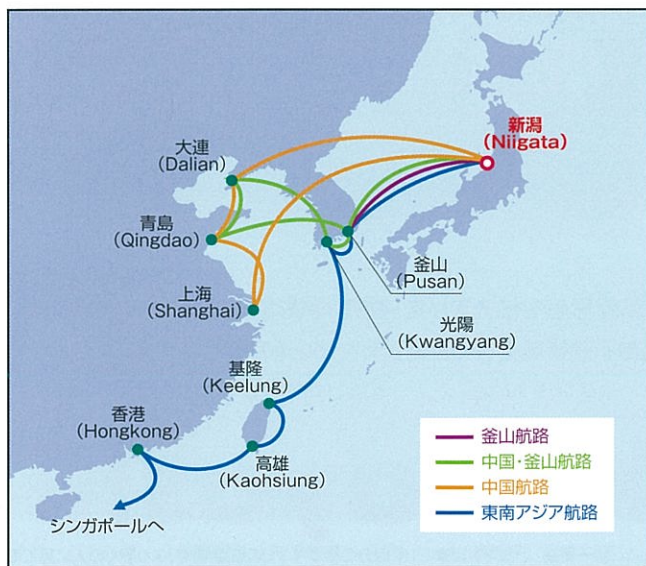
新潟港は堂々全国トップテン入り! 日本海側で1番!

## ■新潟港外貿コンテナ航路別貨物量推移(空コン込)(単位:千TEU)



年々伸びる貨物量、平成18年も順調に増えています  
※単位のTEUは20フィートコンテナ1個分

## ■世界の港とつながる新潟港



アジア各地へ、香港・シンガポール経由ヨーロッパへ H18.11現在

## ■コンテナを運ぶトレーラー



▲20フィートコンテナ(長さ6m)=1TEU



▲40フィートコンテナ  
(長さ12m×ヨコ2.5m×2.5m)=2TEU

=4.5畳の部屋が約4部屋分相当の容積



みなと賛歌 **出船入り船新潟湊** 三村哲司

**コンテナ豆知識**

コンテナとは、もともと容器という意味で、鉄やアルミニウムでできた四角い箱のことです。



私達の生活に欠かすことのできない食品・日用品・肉・野菜など、ありとあらゆるものを運ぶことができ、しかもトラックで運んできて専用の機械を使えば、そのまま船に積み込むことができます。荷物を運ぶのにとっても便利な方法です。

**《コンテナの種類》**

一般的な荷物を運搬するのに使われるのは「ドライコンテナ」ですが、冷凍装置が取り付けられ、室内の温度を一定に保ちながら肉・野菜・魚・その他の冷凍貨物を長時間運搬することができる冷凍コンテナもあります。



その他に荷物(貨物)の状態により使う天井部が空いているオープントップコンテナ、大きな荷物を運ぶフラットラックコンテナ、液体を運ぶタンクコンテナなどがあります。

**《コンテナはどうやって運ぶのか》**

コンテナを海上輸送する場合は、コンテナ専用船を使います。コンテナの船への積み降ろしはガントリークレーンといった大きなクレーンを使います。



新潟湊の和船 新潟市郷土資料館旧蔵

江戸時代の新潟湊の全盛期は、元禄時代といわれている。当時は、信濃川と阿賀野川が新潟湊に合流しており、信濃川の水深は中央部で23尺、両岸でさえ15尺もあり、いかなる船も入津(港)できる天下の良港であったという。

元禄10(1697)年の入津和船(北前船)は3,500艘を数え、その船籍は国内40カ国に及んでいた。

元禄10年の移入品としては村上、会津、長岡など越後諸藩からの蔵米34万俵(11万両)、在米と町米34万俵、西国からの木綿、塩、煎茶、北国の津軽、能代からの鮭、材木などが記録されている。

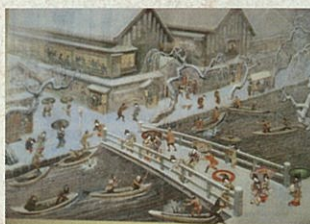
これらの品々を満載した出船入り船を送迎する新潟は、湊町としての活気に溢れていた。

天保14(1843)年、新潟が長岡藩から幕府直轄の天領に上知されたとき、従来の仕来り〜慣習法〜を書上げ奉行に報告した『新潟市中風俗書』がある。それによれば、新潟湊の商業に携わる廻船宿・地廻船宿・小宿・川売り・通辞船・水戸教船・小助買・在宿など長旅の船乗り達の安全と便宜をはかる人々や運送荷役に従事する舳下船・小揚げ・天渡船持等、さらに旅人をもてなす接客関係者には旅籠屋・風呂屋・売女渡世・女芸者・後家稼ぎなどがあり、毘沙門嶋、熊谷小路、だっぼん小路など船着場に近い下町(新潟で古くは州崎町と呼んだ)に多く営業していた。新潟の江戸時代の人々は何らかの形で湊と関係をもっていた。その産業構造の頂点は廻船業者であった。

新潟湊へ入港してくる廻船を相手にする業者を問屋と呼び、廻船宿とか廻船問屋としてその多くは上大川前に土地と店舗を持ち、長い湊の歴史の中にその盛衰興亡は激しかった。湊が出船入り船でにぎわうと廻船業は潤い、それに関係する業者の営業も活気を帯びる。新潟には『実があるなら冬枯れみつき、花の三月、誰も来る』という江戸時代の俗謡がある。北海の冬の海は厳しい。十二月、一月、二月は海が荒れ、シケが続く。多くの廻船業者は、船を湊に放置せず陸上に引きあげムシロですっぽり覆うのである。これを「囲い船」と呼び、この作業はだいたい川売り業者があたった。

深い眠りから醒める春三月、海は風ぎ、日和山から一望する海辺に引き網漁の歌声が響くころ、湊は再び活気に溢れる。新潟に吹く南風を「だしのかぜ」と呼ぶ。この風は、信濃川から海に向かって吹く風で出船にとっては順風満帆の風となる。

新潟に、この頃から『日和もらい』という習俗があった。新潟の人々は旅人の船路安らかなれかしと祈願して、白山さま、住吉さま、金刀比羅さまに参詣したのである。忙しく、新潟に土地勘のない旅人にかわって神仏の加護を祈る新潟の「代参」という温かい習俗である。こうした「もてなし」の心は今も脈々として生きている。



だっぼん小路 新潟市郷土資料館旧蔵 銅谷白洋画



＜筆者紹介＞

亀田郷土資料館長  
NPO法人新潟みなとクラブ会長

※本稿では、原則として「新潟港」の表記を江戸時代は「湊」、開港後は「港」とした。



# みなぼーと広場

## みなとまちづくりをみんなの手で! NPO法人新潟みなとクラブ発足



### ■主な活動計画

- 広報誌「みなぼーと新潟」の発行
- 「みなと」の文化・歴史に関する展示会の開催
- 講演会、学習会を開催し、みなとまちづくりについて学ぶ
- みなとの利用、活用に関する要望のヒヤリング
- みなとに関する調査・研究

みなとまち新潟を愛し、みなとまちづくりに貢献したいと思う皆様方の参加をお待ちしています。

### ■入会申し込み方法

入会申込書を事務局宛送付。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

みなとまち新潟を愛し、市民的立場でみなとの発展を支え、個性ある豊かなまちづくりを実現するため、みなとについて理解を深め、みなとと一体となったまちづくりに貢献することを目的に、NPO法人新潟みなとクラブを設立しました。

役員は、会長・三村哲司、理事長・阿部琢郎、他理事10人、監事1人です。

### 希望の船出

NPO法人新潟みなとクラブ会長 三村哲司(亀田郷土資料館長)

81万人の乗客を乗せて、新潟丸は政令指定都市の航路に就航する。市民一人ひとりが新潟丸の船員であり乗客である。

我々「NPO法人新潟みなとクラブ」一同は、新潟港の歴史と文化を内外に発信しつつ、時代の要請を真摯に受け止めて航海を進めていこうと思う。古今東西を問わず港には自由と希望があり、みなぎる活気がある。そこにロマンが生まれ、快いサプライズがある。『みなとは市民みんなのもの』これが私どもの共通認識である。

### お祝いメッセージ

国土交通省北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所長 伊藤 晃

「新潟みなとクラブ」の設立を心からお慶び申し上げます。

新潟港は歴史ある港であるとともに、地域の方々の生活を支えています。そのため、我々は新潟港の整備とあわせて、このことを多くの方々に知っていただけるよう努めているところです。「新潟みなとクラブ」の皆様方とも連携して、「みなと町新潟」の魅力などを情報発信することができれば、大変素晴らしいと考えております。

### 新潟みなとクラブの活動報告 新潟みなとの学習会 2006年10月13日(金)

認証までの間に新潟港の現状を理解するために、新潟港湾・空港整備事務所のご協力により、同事務所の監督測量船「ちとせ」で土田副所長の案内で新潟西港港内視察を行いました。当日は、三村会長はじめ新潟みなとクラブ理事他12名が参加しました。

秋晴れの清々しい日、約1時間半の行程で、西港港内を萬代橋まで遡り、朱鷺メッセ、佐渡汽船前を通過、みなとトンネル入船みなとタワーを左に見て、船は一路港外に出て、新潟西海岸の整備状

況を海上から視察しました。

海上から新潟港を見る機会は少ないため、参加された皆さんから、「新潟港の玄関口として、海上から見た景観を大切にしようと考えていきたい。みなとトンネルタワー周辺(入船・山の下)を市民が憩える場に整備を進める必要がある」等の意見が出されました。

新潟みなとクラブでは、今後も会員や市民の方々を対象にこのような取り組みをしていきたいと考えています。



新潟西港視察会に参加された皆さん

発行：NPO法人新潟みなとクラブ

事務局：新潟市太平四丁目20-32 TEL025-270-7017 FAX025-271-4460

「みなぼーと新潟」に対する、ご意見・ご感想を上記あてにお聞かせ下さい。

協力：国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所